

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

部下を育てる叱り方 渡邊 美樹 (ワタミ社長)

1. 部下がミスを犯したときには、その原因によっては叱ることが必要だ。しかし、叱るのは、最も難しい部下への対し方である。叱り方が下手だと、目的どおりに部下は動かない。叱られたことに納得がいかなければ、面従腹背などのマイナス効果となってしまう。
2. 居酒屋チェーン大手、ワタミの渡邊社長の叱り方は、いつも自然体である。あれこれ考えずに、役員クラスであれ、ヒラ社員であれ、誰に対しても、いつでもどこでも同じように、叱りたいときに叱る。小手先のテクニックは使わない。それが可能なのは、渡邊社長のコミュニケーションの基本、「日頃から部下との信頼関係を築いておくこと」が、大前提としてあるからだ。
3. 「部下が一番困るのは、上司に一貫性がないこと」である。昨日と今日で社長の言うことが違い、ケースごとに判断がぶれれば、部下の仕事は一気に滞ってしまう。「ぶれなければ、実は相談する前に部下自らが正しい結論を出して、長く話す必要はない」のである。また、渡邊社長が仕事をする上で最も重視しているのは、「お客様、株主、従業員のためにならないことは叱る」である。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2006年8月12日・19日号)

新規成長分野

水関連ビジネスには商機

1. 国連によると、世界で 26 億人が汚染された水源から水を取っている。対して牛肉を 1kg 作るのに 10 万リットルの水が要る。コンピューターチップを 1 個作るのに 75 リットル、フルーツジュースを 1 リットル作るのに 780 リットルの水が要る。(英国の非政府組織ウォーターワイズ調べ)。こうした現実が今、企業経営に深刻な影響を及ぼしている。
2. 水が生活に不可欠だということは誰もが知っている。食料、エネルギー、輸送、自然、レジャー、アイデンティティ、文化、日常的に使う事実上すべてのモノに関わるのだ。だが、水問題には大きな商機もある。水利用を削減しようとした時、最初に必要なものは現在どれだけの水を利用しているのか知ること。水量計測システムを手がける米イトロンや独テッケムは、いい位置につけている。インフラ変換や濾過システム、灌漑技術を提供して躍進している企業も多い。水の管理は今後、一級のビジネスになる。

(参考:「日経ビジネス」:2006年9月11日号)

ワンポイント経営アドバイス

思考の三原則

1. 昭和の碩学・安岡正篤^{せきがく まさひろ}が静かなブームになっている。安岡は、「知識」は単なる大脳皮質の作用に過ぎず、本を読んだり学校に行くだけで手に入る。だが、人間の信念にはならず、もっと根本的なものが加わらないと役立たない。これが「見識」だ。さらに、いかに見識があっても、実行力、断行力がなければ何にもならない。見識を具体化させるのが「胆識」である。
2. また、安岡の考えに、「思考の三原則」というのがある。第一は、目先にとらわれず、出来るだけ長い目で見ると。第二は、物事の一面にとらわれず、出来るだけ多面的、全面的に見ると。第三は、枝葉末節にとらわれず、根本的に考える。

(参考:「日経ベンチャー」2006年10月号)

古典に学ぶ

一芸万芸に通ず

「一芸の士は、皆語るべし」

(訳) その道の達人名人は、専門が違っても話が通じ合う。

(参考:佐藤一斎「言志四録」:PHP文庫)